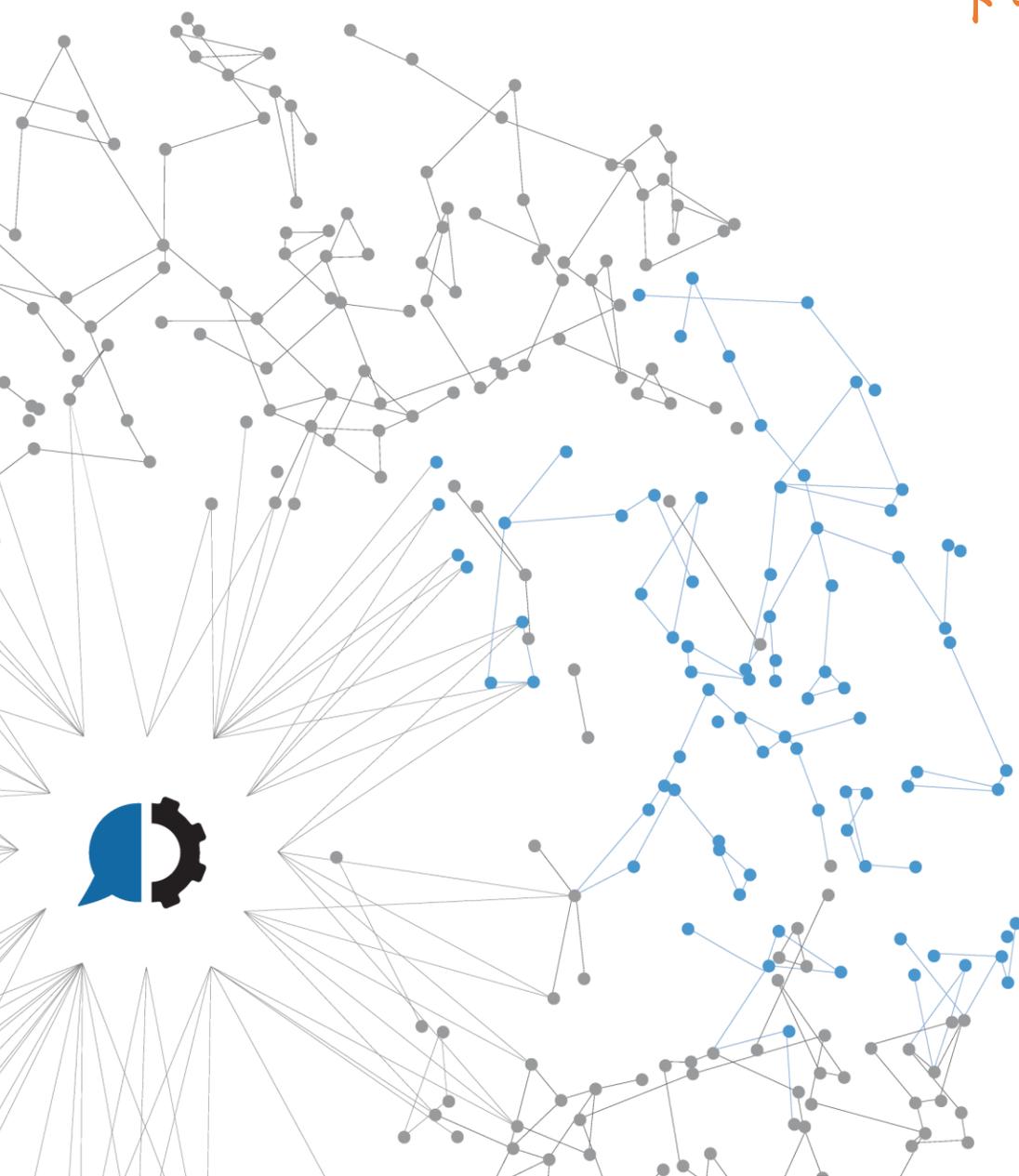




helpsystems

LINKEDIN BOT

トークンの生成





目次

概要.....	3
必要要件	4
AUTOMATE タスクのインポート方法	10
「LINKEDIN - トークンの生成」の実行方法.....	11



概要

この How to ガイドでは、「LinkedIn - トークンの生成」をご紹介します。繰り返しの多い手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに AutoMate に任せて、RPA による自動化で IT とビジネスプロセスを合理化しましょう。AutoMate の支援により、ボットが手作業を代行することで反復作業を大幅に減らし、作業の品質と一貫性を向上させることができます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

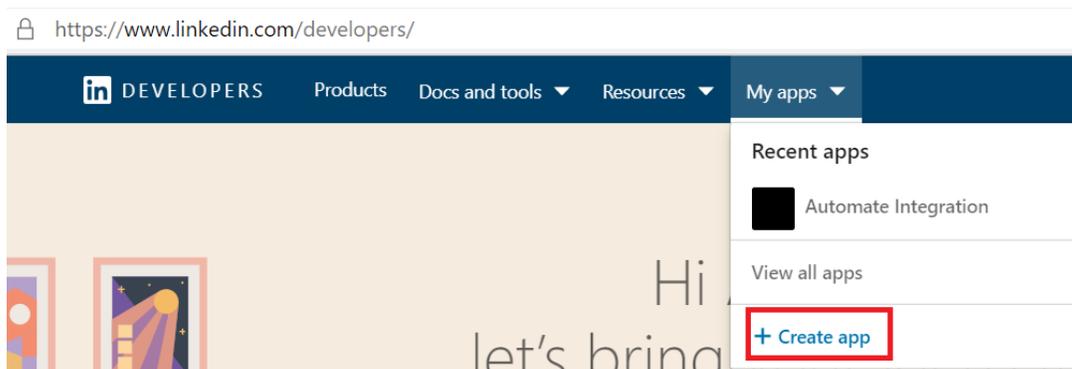
LinkedIn - トークンの生成は、**LinkedIn Authorization Code Flow (3-legged OAuth)** に基づいています。LinkedIn が提供する URL に対して、**OAuth2**のアクセストークンリクエスト `/oauth/v2/accessToken/` を実行します。トークン生成には、`authorization_code` 型の `grant_type` パラメータを使用します。このボットは、LinkedIn がユーザーに LinkedIn 内部の認証プロセスを通過するよう要求するため、有効期限の長いトークン（リフレッシュトークンを使用）の生成をサポートしません。ただし、トークンの有効期限はデフォルトで60日となっています。つまり、LinkedIn Bot が実行されるたびに有効なトークンを持つためには、トークンの有効期限が切れる前に、認証コードの取得と Bot の実行のプロセスを行う必要があります。

詳細については、「[前提条件](#)」と「[LinkedIn - トークンの生成](#)」のセクションを確認してください。



必要要件

- **AutoMate:** LinkedIn ボットは動作に AutoMate を必要とします。最低限サポートされているバージョンが以下の通りです:
 - Automate Ultimate 11.2
 - Automate Plus 11.2
 - Automate Desktop 11.2
- **AutoMate Markup Language file (.AML):** LinkedIn ボットタスクのステップを含む AutoMate で使用される主要なファイル形式
- **LinkedIn:** 最低限必要なものは
 - **LinkedIn でアプリケーションを作成:** 他の LinkedIn Bots の接続に使用されるトークンの適切なスコープとリクエストを設定できるようにするには、LinkedIn 開発者サイト内でアプリケーションを作成する必要があります。これを行うには、<https://www.linkedin.com/developers> で LinkedIn Account にログインする必要があります。ここで、新しい APP を作成するための「My apps」メニュー内のオプションを見つけることができます:





次に、アプリの情報を入力します:

Create an app

* indicates required

App name*

LinkedIn Page*

ⓘ This action can't be undone once the app is saved.

The LinkedIn Page you select will be associated with your app. Verification can be done by a Page Admin. [Learn more](#)

[+ Create a new LinkedIn Page](#)

Privacy policy URL

App logo*

This is the logo displayed to users when they authorize with your app



Upload a logo

Square image recommended. At least one dimension should be at least 100px.

Legal agreement

When you develop on our platform, you are agreeing to be bound by our [API Terms of Use](#).

I have read and agree to these terms

「Create App」ボタンをクリックすると、アプリの設定画面になります。次に、重要な設定項目が表示されます。次の例では、アプリの名前を「Automate Integration」としています。

OAuth 認証コードのワークフローをサポートするためのアプリケーションの設定: アプリケーションの設定画面で、「Auth」タブを開き、**OAuth 2.0の設定**を行います。**Client ID**と**Client Secret**が提供されます（安全に保存してください）。これらの値は、Bot Configurationを設定する際に必要になります。認証コードの流れ（3本足 OAuth）については、[こちら](#)で詳しく解説しています。



ここで、Client ID と Client Secret が表示されます:

Automate Integration
Client ID: 78... | Created: Sep 4, 2020

Settings **Auth** Products Analytics Team members

Application credentials

Authentication keys

Client ID:
[Redacted]

Client Secret:
[Redacted]

次に示すように、リダイレクト **URL** を設定することに注意してください:

OAuth 2.0 settings

Token time to live duration

Access token: **2 months** (5184000 seconds)

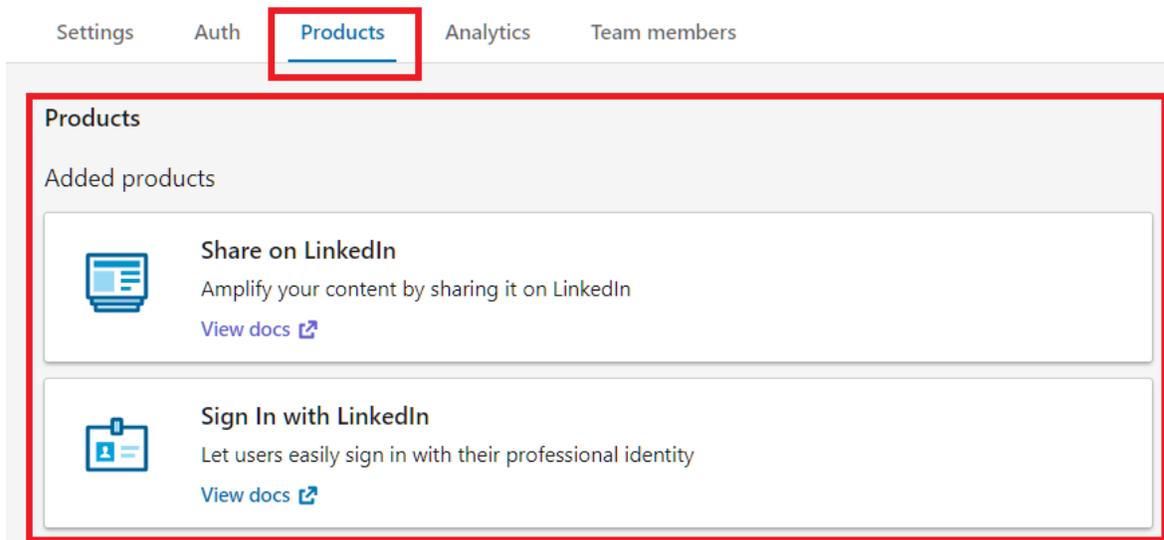
Authorized redirect URLs for your app

http://localhost

この URL は、ボット設定内で使用されます。



LinkedIn の製品をアプリに追加: アプリケーションの設定画面で、**[製品]**タブを開き、必要な製品を追加してください。この画像例では、「**Share on LinkedIn**」と「**Sign in with LinkedIn**」というプロダクトを追加しています。次の画像で、その用途を説明します:



これらの製品は、関連するアプリの範囲に直接関連しています。例えば、アプリ内で LinkedIn の「**w_member_social**」範囲にアクセスするには、「**Share on LinkedIn**」プロダクトの前に追加する必要があります。この範囲を使用すると、LinkedIn でコンテンツを共有することができます。



認証コードを生成するプロセスの前に製品を追加することが重要です。そのようにしないと、スコープが認証されていないというエラーで失敗します。

OAuth 2.0 scopes

- Scopes define what your app can do on a user's behalf.
- The OAuth consent screen will display descriptions to end users as they are seen below. Some variation may occur if your app has a custom OAuth experience.

r_emailaddress

Use the primary email address associated with your LinkedIn account

r_liteprofile

Use your name and photo

w_member_social

Create, modify, and delete posts, comments, and reactions on your behalf

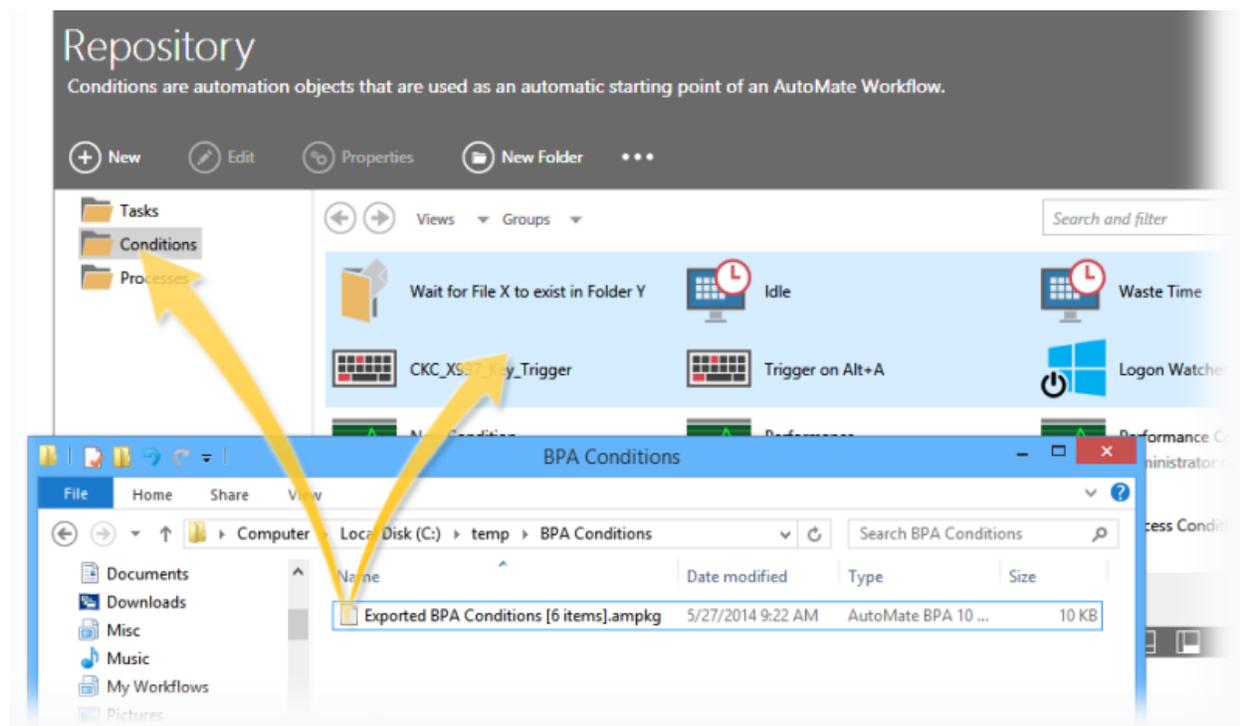


AUTOMATE タスクのインポート方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでレポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソールから[レポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。



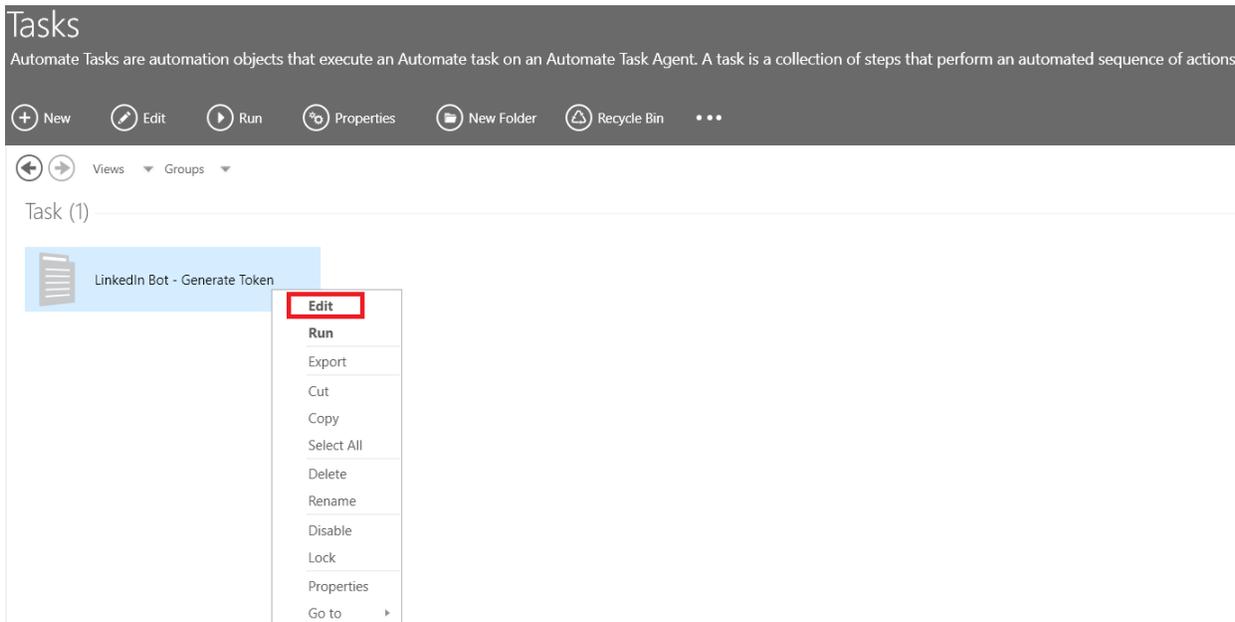


「LINKEDIN - トークンの生成」の実行方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、「編集」を選択して編集します。



ステップ2では、希望する出力に合わせて次の変数を編集してください:

- **var_GetTokenURL:** LinkedIn Token を要求するために使用される URL です。LinkedIn が提供するデフォルトの URL に設定されています:
 - <https://www.linkedin.com/oauth/v2/accessToken>
- **var_AuthCode:** LinkedIn が提供するステップバイステップ（前提条件に記載）で取得した Authorization Code です。
- **var_RedirectUri:** レスポンス・リダイレクトのための URL。デフォルトでは、以下のように設定されています <http://localhost>。
- **var_ClientId:** この ID はアプリに固有のもので、OAuth を開始するために使用されます。LinkedIn では Application Integration Key と呼ばれています。
- **var_ClientSecret:** 作成した LinkedIn アプリ内で生成された **Client Secret** となります。



- **var_TokenFileOutput:** ボットが生成したトークン文字列を含む txt ファイルを作成するためのパスとファイル名となります。

デフォルト:

C:\Automate\LinkedInToken.txt

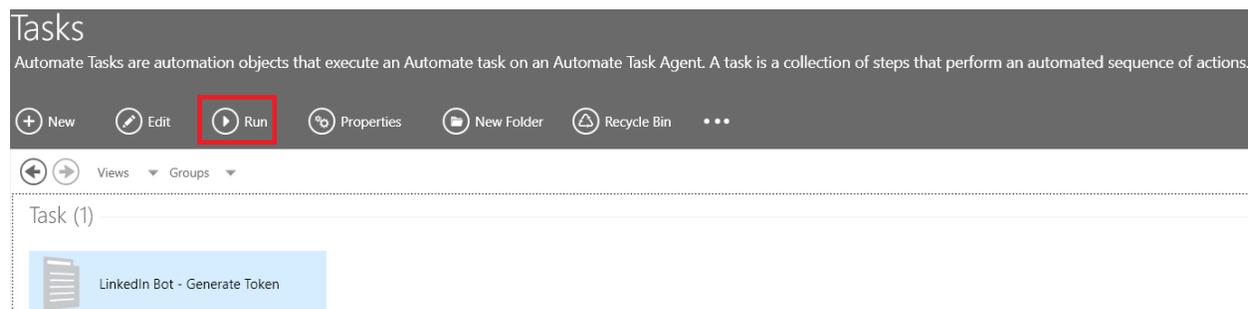
以下は、生成されるテキストファイルの内容の一例です:

```
*LinkedInToken.txt - Notepad
File Edit Format View Help
access_token:AQXiEWh14VHUk1T0itgdX
```

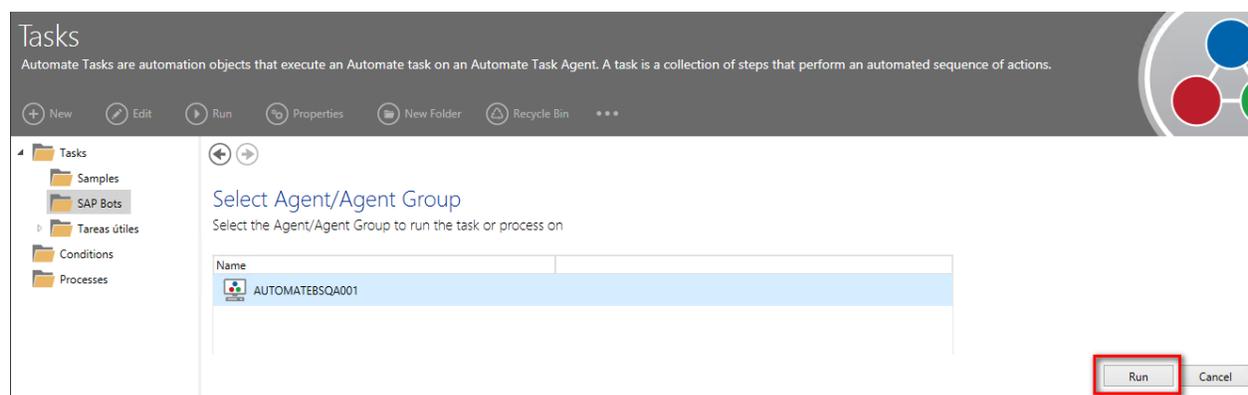
重要: このボットは、トークンのメンテナンスに時間がかかるため、リフレッシュトークンを取得しません

タスクを保存して閉じる

タスクを選択し、「実行」をクリック



エージェントを選択し、再度「実行」をクリックします。





付録 A-トラブルシューティング

- ログ: 実行毎に、トラブルシューティングのためボットはログファイルを作成します。ログファイルはC:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>に保存されます。デフォルトでは、タスク名は *LinkedIn Bot - Generate Token*.



www.helpsystems.com

About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and Automate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people